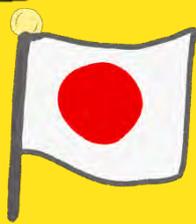


3回シリーズ **多文化共生**を考えよう！



外国の人たちに
まいてみよう！

ニッポンってどんな国？



こんな国!!?

10月6日 (日)

13:30開場

14:00~16:30

松本市大手公民館 大会議室

[定員100名]



信州自遊塾会員・CTN会員・学生：無料
一般：500円

長野県在住の
韓国・中国・ブラジル・ベトナム・フィリピン、5か国の方から
直接話を伺います。詳しくは裏面をご覧ください。

主催：信州自遊塾 協力：NPO法人 CTN(中信多文化共生ネットワーク)

後援：松本市・安曇野市・塩尻市・信濃毎日新聞社・市民タイムス

【問合せ/申込み】 090-4463-6182(くぼた) 090-4911-8209(まつもと)

信州自遊塾HP<http://www.jiyujuku.org/>「講座申込フォーム」 or FAX 0263-77-5437 (一般の方は連絡先をご記入ください)

日本は、日本語を話す日本人が住んでいる単一民族の国だと多くの人が思っていますが、多くの国では国籍や人種が違う人が同じ国に住み、普通に暮らしています。今後グローバル化や人口減少が進む中で、日本も同様にさまざまな国や地域の人たちが住むようになっていくでしょう。「多文化共生」とはお互いの文化を尊重して、ともに気持ちよく暮らしていくことです。私たちがそれぞれの国や民族の文化を理解することは、国際平和のためにもきわめて重要なことではないでしょうか。新しい時代をどう生きるかについていっしょに考えてみませんか？



インタビュアー&コーディネーター

佐藤友則 SATO, Tomonori

NPO法人 CTN(中信多文化共生ネットワーク) 理事長
信州大学グローバル化推進センター教授

商社勤務を経て1991年に東京の日本語学校で日本語教師スタート。東北大・大学院に進学し、博士課程途中から韓国に渡り、国立大で3年間日本語ほか指導。

帰国して1999年から信州大学に勤務。今年で信大生活20年目。また、2008年に外国由来の子供の現状を憂う仲間たちと市民団体「中信多文化共生ネットワーク」(CTN)を設立し、理事長に就任。2010年にNPO法人化。発足11年目の現在、CTNは松本市から2つの多文化共生の事業(松本市子ども日本語教育センター&松本市多文化共生プラザ)を委託されるなど広範囲に活動中。2017年多文化共生の活動で長野県知事表彰。

5名の外国人スピーカー



松尾チョンヒ : 韓国

ソウル出身。1991年東京デザイナー学院絵本創作科卒業。日本人と結婚し、松本に移住して20年になる。NHK「きょうの料理大賞」受賞がきっかけで、韓国料理の講師をしている。



劉 銘傑(日本名:中西 玲名) : 中国

甘肅省出身。吉林大学卒業。1991年留学で来日。筑波大学院課程終了後、松本に居住。中国語教師、通訳として大学、企業、行政など勤務。またNPO法人CTN(中信多文化ネットワーク)の理事としても活動中。



堺ソランジェ澄子 : ブラジル

ブラジルのサンパウロ州出身。日系三世。1996年に来日。現在、長野県塩尻市に住んでいる。2016年より介護職として介護施設で働いている。



チャン・マイ・フーン : ベトナム

ベトナム・ハイフォン出身。2014年に広島日本語学校に来日。2016年に信大・経法学部入学。経済学と同時にアルバイト等で日本事情を学ぶ。来年から県内の企業で勤務予定。



三浦エヴェリン : フィリピン

フィリピン出身。母国で看護師として勤務。来日後、日本人と結婚し、2人の子供と4人家族で18年間日本で暮らしている。今は、安曇野市の小学校で英語を教えている。

= 3回シリーズのスケジュール =

○第2回 12月1日(日)

「外国の人たちと創っていく日本の将来」

○第3回 2020年 2月ごろ

テーマ: 先進事例から考える

~これからの人間の生き方を考えよう~

信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>

10月6日(日)

13:30開場

14:00~16:30

松本市大手公民館 大会議室

[定員100名]

第1回

外国の人たちに
きいてみよう!
ニッポンでどんな国?
こんな国!?

【第1部】 インタビュー

5か国の外国人からナマの声をきこう!
and 佐藤友則さんのお話とまとめ。

【第2部】 質疑応答

5名の外国人スピーカーと佐藤友則さんが
質問にお答えします。

松本市大手公民館 松本市大手3-8-1 ☎0263-39-5711
できるだけ公共交通機関でお越しください。お車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

